



Handcraft de お勉強

ファイヤー・ブラスターをつくろう

～これであなたも焚き火がしたくなる～

鳥取県キャンプ協会が得意とする、「講師なし」「講師はみんな」が合言葉のOOde お勉強シリーズです。今回は、YoutubeをはじめとするSNS等で話題となっている!?「ファイヤー・ブラスター」を作ってみようと思います。

ファイヤー・ブラスターとは「火吹き棒」のことです。地面に両手をつき、焚口に向かって口元を細めながら「ふーふー」と息を吹きかける行為も楽しいものですが、自分専用のファイヤー・ブラスターを製作し、焚き火に向き合ってみませんか？ いつもと違う時間となるに違いありません。

キャンプ活動のクラフト教材としてはもちろん、現在のステイホーム、行動自粛等の生活に潤いと癒しを生み出す時間として、仲間と一緒に製作する時間を共有しませんか？

日程 **令和3年 5月30日 (日)**

午後 14:20 受付 14:30 スタート 16:00 解散予定

場所 鳥取短期大学 D205 教室および構内

〒682-0013 倉吉市福庭854

参加費 会員1000円/会員外1500円 当日受付時に徴収
(保険代、材料費、飲物代ほか)

主催 鳥取県キャンプ協会 (協力：鳥取短期大学)

対象 日本キャンプ協会会員、研修内容に興味のある方 15名定員

内容 参加者の予習や事前準備に期待しながら、参加者同士の学びあいで研修します。今回は100均で売られている自撮り棒を分解・改造して、木筒グリップを装着した伸縮性のある「ファイヤー・ブラスター」に仕上げます。基本材料に関しては協会事務局で準備します。作品イメージは[こちらQR](#)をご覧ください。

もちろん、こだわりのある材料持参も歓迎です！

本体の材質の変更 (竹製、アルミパイプ製など)

グリップの変更 (皮革、コルク、綿ロープなど)



申込み 下記URL (↓QRコード) を読み込み、氏名、会員番号 (領収)、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス等の必要事項について回答してください。



<申込フォーム> <https://forms.gle/WPScVZfcNGVCNDre6>

<問い合わせ先>

鳥取県キャンプ協会事務局

〒682-8555 倉吉市福庭854 鳥取短期大学 近藤研究室

TEL0858-26-9161 / E-mail tottori@camping.or.jp

準備物 軍手 (けが防止用)、タオル、飲物、その他必要と思われるもの

申込締切 **令和3年5月21日 (金) 必着**

その他 ①研修中のけが等は加入する傷害保険の範囲内 (応急手当を含む) での対応とさせていただきます。
②個人情報、事務手続きならびに今後の協会情報の提供にのみ利用させていただきます。
③参加の際には、裏面のガイドラインを遵守していただくことを求めます。

2021年度 鳥取県キャンプ協会 イベント 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止対策ガイドライン

本協会が主催するイベント等に参加する者（以下、参加者と称する）は、以下に掲げるガイドラインを遵守し、新型コロナウイルス感染症の感染予防とその拡大防止に努めること。また、会の目的を達成するため、各自が対策の意味を理解し、相互協力すること。

★全般

- 会場の選定に際して、三密の回避が可能な環境を考慮し、準備すること。
- 主催者は実施の可否判断は出席予定者からの問合せ、または鳥取県新型コロナウイルス感染症特設サイト（HP）の情報をもとに、理事会で判断すること。出席予定者等の通知は、e-mail等の手段を用いる。
- 参加者は総会、イベント実施前後14日間の行動記録と体調記録（検温を含む）に努める。
- 参加者は以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合
 - ・過去14日以内に新型コロナウイルスに感染した人と接触した場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加者はマスクを着用し、活動することを原則とし、マスクなしでの会話等は避ける
- 参加者が着用するマスクの素材は、予防&拡散防止の観点から「サージカルマスク（不織布）」とする
- 参加者はこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 参加者は参加者同士のソーシャルディスタンス（距離）を確保すること
- 参加者は活動前と活動後は他者と共有する物品類等、不特定多数の人が触れる場の消毒を実施すること
- 会場は、教室定員の半数以下での利用、十分な換気が可能となる条件を満たす会場を準備し、参加者同士のソーシャルディスタンスに配慮した座席レイアウトとする
- 会場ならびに施設備品や貸出物品の使用後は、洗剤洗浄または消毒を実施すること
- イベント終了後（14日間以内を目途）に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、協会事務局へ速やかに報告すること。事務局は関係機関の協力要請（個人情報の公開を含めて）に積極的に応じ、感染拡大に努めること。

★会議・研修会時★

- 参加者は入室時に全員が非接触体温計により検温、手指消毒を実施すること
- 参加者はマスクを着用すること（スタッフはサージカルマスクとする）
- 参加者は直接肌に触れるような物品類の共同使用を減らす工夫をすること。
- 物品のやり取りや共同利用が避けられない場合には、参加者は使用前後に手指の消毒を励行すること。
- 会場ならびに施設備品や貸出物品の使用後は、参加者は洗剤洗浄または消毒を実施すること
- 食品を取り扱う際には、参加者は使い捨てグローブ（ラテックス製など）等を使い、手で直接触れることの無いように心がける
- 活動中に飲食（水分補給等）が生じる際には、参加者はマスクを外している時間を減らすこと